

【MRI検査の説明・問診・同意書】

MRI(Magnetic Resonance Imaging: 磁気共鳴画像)検査とは、磁力と電磁波の力によって、人体のあらゆる部分の断面像を撮ることができる検査です。検査にX線は使用しないので放射線被曝の心配がありません。CT検査とは異なった情報が得られます。筒型の装置の中に入ってもらい、検査を進めて行きます。画像を得る時に大きな音がします。検査時間は検査内容によって異なりますが、おおよそ45分です。
※MRI検査を安全に実施するために、以下のご説明をお読みください。

1. 検査を受けることができない方

- ① 心臓ペースメーカーを埋め込まれている方(MRI対応のものでも不可)
- ② 金属製の心臓人工弁を使用されている方
- ③ 人工内耳・人工中耳を使用されている方
- ④ 神経刺激装置(深部脳刺激装置)を使用されている方
- ⑤ 冠状動脈等に磁性体のステント挿入後2ヶ月未満の方

2. 検査を受けられない可能性がある方(主治医に申し出てください。)

- ① 妊娠中もしくは妊娠の可能性のある方
胎児に対するMRI検査の安全性は確立されておりません。原則、妊娠中の方は検査を受けることができません。(特に妊娠してから最初の約3ヶ月の検査は慎重になる必要があります。)
- ② 脳動脈瘤手術による金属クリップやコイル等がある方
金属の材質をご確認下さい。材質が分からない場合は検査を受けることができません。
- ③ 手術等で体内に金属のある方
材質が確認できない場合は検査を受けることができません。
金属取り扱い業務に従事された方や外傷された方等で、体内に鉄片等が残っている可能性がある場合も検査を受けることができません。
- ④ 閉所恐怖症の方
- ⑤ てんかん発作の既往がある方
- ⑥ 入れ墨、アイライン、マスカラ、化粧品、整髪料、制汗剤等をしている方
入れ墨は鉄粉を使用しているため、火傷や変色する可能性があります。主治医に申し出てください。アイライン、マスカラ等は、火傷を発生する事例があるため、検査前に落とすようにしていただく場合があります。なるべく化粧はせず、ご来院ください。
- ⑦ コンタクトレンズを使用されている方
患者様に安全な検査を提供するため、原則、取り外していただきます。(コンタクトレンズの中には酸化鉄などの金属を含むものもあります。)検査当日はコンタクトレンズを装着せずに来院されるか、入室前に取り外してください。

3. その他の注意

検査室内に補聴器、装飾品、腕時計、磁気カード、電子機器類を持ち込むと故障、データが消失します。

入れ歯、使い捨てカイロ、エレキバン、ヒートテックなど発熱素材の肌着、ベルト、湿布、ニトロダーム、ニコチネル等は、火傷や画像のみだれを引き起こす可能性がありますので取り外していただきます。ご不明な点がございましたら、主治医、看護師または診療放射線技師にお尋ねください。